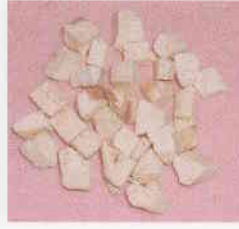


【生薬名】 栝楼根[㊦] *TRICHOSANTHIS RADIX*
栝楼实 *TRICHOSANTHIS FRUCTUS*
栝楼仁 *TRICHOSANTHIS SEMEN*

【起源植物】 キカラスウリ *Trichosanthes kirilowii* var. *japonica*



【科名】 ウリ科 *Cucurbitaceae*

【別名】 栝楼は栝楼、栝萋、瓜呂、瓜楼、瓜萋、など色々な書き方がある
T. kirilowii、*T. bracteata*(材カラスウリ)も栝楼根[㊦]として使われる
天花粉とは栝楼根の粉末を指します

【薬用部分】 根：栝楼根、種子：栝楼仁、果実：瓜楼実(全瓜楼ともいう)

【主成分】 澱粉、トリテルペノイド、有機酸、フラボノイド、アミノ酸、加水ノイド、コリン、脂質

【薬性】 栝楼根：気味は甘酸寒、帰経は肺胃に属す

栝楼仁： " 苦寒、 帰経は肺胃大腸に属す

瓜楼実： " 甘苦寒、帰経はに属す

【効能】

【栝楼仁】 ●栝楼仁は解熱、止渴、消腫、咽喉痛、呼吸器の消炎に、1日3～5gを煎服

●喘息の咳や去痰に1日6gを煎服

●口渴や煩渴を伴う便秘(痰熱によるもの)にもつかう

●インターフェロン誘起作用が確認されている

【栝楼実】 ●栝楼実は熱を冷まし、渴を潤し、胸部の痛みを止める

【栝楼根】 ●栝楼根は止渴、解熱、催乳、鎮咳に利用1日3～5gを煎服

●肺熱による咳嗽、温熱病の口渴や煩躁、胃熱の煩渴や口舌の乾燥や食欲の偽亢進(糖尿病など)に、清熱と生津に応用する

●天花粉は小児の皮膚病や汗疹に

●抗消化性潰瘍作用・インターフェロン誘起作用が確認されている

【出典】 ●瓜呂仁 寒、嗽を寧くし、痰を化し、傷寒結胸、渴を鮮くし、煩を止める。(薬性歌)

【備考】 ●麦門冬、天門冬、栝楼根について、共通点は、ともに清肺潤燥の効がある点で、
違う点は、胃熱によって生じた肺熱には栝楼根が、心熱によって生じた肺熱には麦門冬が、腎陰虚によって生じた肺熱には天門冬が適している

【処方例】 ●栝楼根…柴胡桂枝乾姜湯、栝萋桂枝湯、柴胡清肝湯

●栝楼実…小陷胸湯、栝萋薤白白酒湯、栝萋薤白白酒湯